



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム

令和4年度（2022年度）

事業報告書

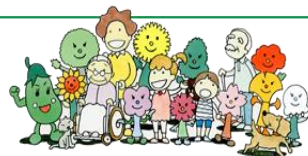
事業計画目標

良質の介護福祉サービスの提供に向けて

～介護福祉のよいところは守り、見直すべきところは“飛躍的な革新”を図る～



私たちは、地域に信頼されるべき
存在であり続けます



鈴 鹿グ リーンホーム
公 式ホームページ

1. 法人運営(総務係)

～Good practice①～

(1) 認証等の認定・更新・登録

✓三重県：「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所」

・令和4年10月29日（更新・宣言番号1）

✓三重県：「みえ働き方改革推進企業」登録

・令和4年10月 1日

✓農林水産省：「野菜パートナー」認定

・令和4年 9月26日

✓厚生労働省：「知って、肝炎プロジェクト」 パートナー団体登録

・令和4年10月 6日

✓一般事業主行動計画（計画期間：2018.4.1～2023.3.31）

✓消費者庁「消費者志向自主宣言」（2022.10.14宣言）

✓三重県「障がい者雇用推進企業ネットワーク」登録（2015.11.2）



～Good practice②～

(4) 地域イベント等への協力・参画

✓三重県民の日「県民フワフワプロジェクト」

鈴鹿市制80周年キックオフイベント

・主催：三重県、鈴鹿市

・令和4年4月16日（土）

・場所：鈴鹿フワフワパーク東エントランス広場

・参加者：入居者・利用者3名、職員2名

✓インスタライブ（小林史明代議士、山本佐知子参議院議員）

・令和4年 9月20日（土）

・テーマ：「デジタル×高齢者福祉」 ・出演者：職員1名

✓みえ福祉・介護フェア2022

・主催：社会福祉法人三重県社会福祉協議会（三重県委託事業）

・三重県老人福祉施設協会会員施設として参画

・介護味ット、介護ソフ等：6機種展示・体験



革新

【告知】

- ・令和4年10月18日（火）18：00～ 三重テレビ「Mieライヴ」出演

【特設Webサイト(11月7日～)】

- ・令和4年11月12日（土） ・出演者：職員1名
- ・内容：映画「つむぐもの」犬童監督とのトークセッション進行役(オンデマンド)

【会場イベント】

- ・令和4年11月13日（日）
- ・場所：イオンモール津南 1階 みなみの広場
- ・内容：介護ロボット等の展示・体験 ・職員2名、協力企業担当者7名

✓学校法人みえ大橋学園 ユニテ医療福祉大学校様 オープンキャンパス

- ・令和4年12月17日（土）
- ・場所：ユニテ医療福祉大学校
- ・内容：介護ロボット等の展示・体験【7機種】
- ・職員3名、協力企業担当者5名

✓「オンラインで気軽に介護のお話！」

- ・主催：三重県介護福祉士養成施設協議会様
- ・令和5年 2月 5日（日）
- ・内容：介護関係者、教員、在校生等の座談会

革新



～Good practice③～

(3)多様な人材の活躍（令和5年3月31日現在）

✓高年齢者（65歳以上）の雇用

- ・18名雇用（職員117名中）
- ・主な職種：介護職員、生活援助（介護の周辺業務を担当）

✓障がい者の雇用

- ・4名雇用
- ・主な職種：介護職員、生活援助（介護の周辺業務を担当）

✓外国人介護人材の雇用

- ・1名（特定技能1号※¹）→5名（特定技能4名：日本語能力試験N3-4名／技能実習生※² 1名：日本語能力試験N4）
- ・明るく元気、一生懸命 ・日本語能力に多少差は見られる
- ・テクノロジー（介護ロボット、ICT※³など）との親和性が高い

※1）特定技能1号：中小・小規模事業者をはじめとした人手不足は深刻化しており、我が国の経済・社会基盤の持続可能性を阻害する可能性が出てきているため、生産性向上や国内人材確保のための取組を行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れていく仕組みを構築するために特定技能制度が創設されました

「特定技能1号」は、特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を必要とする技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格（出典：出入国在留管理庁「特定技能がトブツク」）

※2）技能実習生：技能実習制度は、国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長5年間）に限り受け入れ、OJTを通じて技能を移転する制度（出典：法務省出入国在留管理庁、厚生労働省人材開発統括官「外国人技能実習制度について」）

※3）ICT：情報通信技術（Information and Communication Technology）

～Good practice④～

(5)ご見学

✓鈴鹿市内社会福祉法人様

- ・令和4年 4月27日（水）
- ・テクノロジー（インカム、ICT、介護ロボットなど）



✓明和町内社会福祉法人様

- ・令和4年 5月23日（月）
- ・LIFE※4、テクノロジー（介護ロボット、ICTなど）



✓鈴鹿市内社会福祉法人様

- ・令和4年 6月 9日（木）
- ・テクノロジー（介護ソフト、ICT、介護ロボットなど）



✓鈴鹿市内医療法人様

- ・令和4年 7月13日（水）
- ・テクノロジー（介護ロボット、ICTなど）

✓福井県 坂井地区広域連合議会議員様、事務局様

- ・令和4年11月15日（火）
- ・テクノロジー（介護ロボット、ICTなど）

✓広島県内社会福祉法人様

- ・令和4年11月18日（金）
- ・LIFE、自立支援促進、テクノロジー（介護ロボット、ICTなど）



✓広島県内医療法人・社会福祉法人様(オンライン)

- ・令和5年2月9日（木）
- ・機能訓練、テクノロジー（介護ロボット、ICTなど）



✓ヤマリ株式会社様、三重県薬務課 公益財団法人三重県産業支援センター様

- ・令和5年3月17日（金）
- ・食事提供、テクノロジー（介護ロボット、ICTなど）



✓愛知県内社会福祉法人様

- ・令和5年3月22日（水）
- ・テクノロジー（介護ロボット、ICT）



※4）科学的介護情報システム（LIFE）：LIFE/Long-term care Information system For Evidence、介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックするためのWebシステムのこと

～Good practice⑤～



(6)講師派遣

革新

✓LIFE研修会（公益社団法人全国老人福祉施設協議会老施協総研 LIFE研修会講師コンパ -として）



・令和4年 7月26日（火）：栃木県老人福祉施設協議会様
（オンライン）

・令和4年 9月29日（木）：一般社団法人長野県高齢者福祉事業協
会様

・令和4年11月30日（水）：一般社団法人岐阜県老人福祉
施設協議会・西濃支部様



・令和4年12月12日（月）：島根県老人福祉施設協議会様

・令和5年 1月：新潟県老人福祉施設協議会様
（オンデマンド）



✓令和4年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会（オンライン）

・令和4年 9月 5日（月）～30日（金）

・シンポジウム（座談会）テーマ：「介護現場が抱える課題と展望」



✓国際医療福祉大学 社会福祉運営管理論（オンライン）

・令和4年10月21日（金）

・講義テーマ：「法人の取組-ICT・栄養・科学的介護情報システム（LIFE）-」

・他14回はオブザーバー出席



✓ATCエイジレスセンター オンラインセミナー

革新

・令和4年10月26日（水）

・テーマ：『「サービスの質の向上」と同時に「負担を軽減する」～介護ロ
ボット、ICT、データ活用事例～』

✓福岡県老人福祉施設協議会 令和4年度居宅介護部会・次 世代部会研修会（オンライン）

・令和4年11月11日（金）

・LIFEフィールドバックデータの活用に取り組む事業所の立ち場として意見交
換プログラムに出席

✓科学的介護に向けた質の向上支援等事業（LIFEマイスター 事業）研修動画撮影

革新

・令和5年 1月25日（水）

・事例紹介：「LIFEの利活用とPDCAサイクルの取り組み」

～Good practice⑥～

(7)委員等派遣

✓株式会社三菱総合研究所（厚生労働省事業）

- ・科学的介護情報システムワーキンググループ 委員
- ・科学的介護情報システムにおけるフィードバックの活用に関する調査研究事業ワーキングチーム 委員
- ・科学的介護に向けた質の向上支援等事業検討委員会（LIFEマイスター事業） 委員

✓三重県

- ・介護保険審査会 委員

✓公益社団法人全国老人福祉施設協議会

- ・21世紀委員会 委員長
- ・老施協総研 LIFEに関する研修会 講師メンバー
- ・老施協総研バーセルインデックス※⁵研修検討 委員
- ・予備代議員

✓三重県老人福祉施設協会

- ・副会長
- ・介護福祉人材確保対策ワーキングチーム 委員
- ・21世紀委員会 委員

✓社会福祉法人三重県社会福祉協議会

- ・社会福祉施設職員研修委員会 委員長
- ・三重県福祉人材センター運営委員会 副委員長
- ・三重県福祉サービス運営適正化委員会 委員
- ・三重県福祉人材センター 介護人材確保対策連携推進協議会 委員



～Good practice⑦～

(8)テクノロジー活用状況

革新

～ロボット・介護機器・ICT機器を“組み合わせて”使用～

- ・介護ロボット : 10機種、計99台(24台増)

【内訳】カメラセンサー（見守り支援）	: 4機種（計50台）
マットセンサー（見守り支援）	: 2機種（計43台）
パワーアシストスーツ（装着型移乗支援）	: 2機種（計2台）
非装着型移乗支援	: 2機種（計2台）
コミュニケーション	: 1機種（計1台）
排せつ予測デバイス	: 1機種（計1台）

- ・介護機器 : 13機種、計33台
- ・ICT機器(アプリを含みます) : 18種類

※5）バーセルインデックス(BI)：日常生活活動を評価するためのもので、評価項目は食事、移乗など10項目からなっています。各項目は「自立」「部分介助」「全介助または不可能」の3段階もしくは2段階で評価を行います。

～Good practice⑧～

(2) 鈴鹿市社会福祉法人等指導監査結果(2022.11.29受審)

✓文書指摘：なし



～Good practice⑨～

(9) 情報発信

～社会課題の改善に取り組んでいることを広く発信～

✓DX※6 取組リーフレットの作成 **革新**

✓LIFE取組リーフレットの作成 **革新**

✓ホームページによる情報発信

- ・ 363,908ページビュー
- ・ 34,817user
- ・ グリーンホームだより公開数：1,157回
- ・ 情報公開ページへの公開数：54回

✓ニュースターの配布

- ・ 9回発行（特養・デイサービスセンター）



～Good practice⑩～

(10) 職員アンケート結果

アンケート



※6) デジタルトランスフォーメーション：ITの浸透による生活の良化

2. 特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム

～Good practice～

多くの方々とつながり、新しい考え方・新たな知識や技術への
学びの機会をいただきました

✓厚生労働省



- ・ホームページ掲載：「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム（LIFE）の利活用に関する事例集」

当ホームの事例2例【事例08・10】が掲載

- ・「介護ロボット導入活用事例集2022」掲載
（公益財団法人テクノエイド協会様）

- ・「令和4年度科学的介護に向けた質の向上支援等事業研修会」

当ホームのフィードバック活用事例が掲載、動画公開

✓三重県、三重県身体障害者総合福祉センター （みえテクノエイドセンター）様



- ・事例発表：「当会における介護現場革新について～介護サービスの質の向上と同時にスタッフの負担軽減を図る～」オンライン発表
（2022.12.16）

✓シルバー産業新聞様



- ・掲載：「LIFE様式はケアプラン改善の重要ツール」（2022.4.10）
- ・掲載：「科学的介護は現場での工夫・考察の中に」（2023.1.10）

✓高齢者住宅新聞社様

- ・登壇：第12回介護経営サミット「LIFE算定とフィードバック有効活用オンライン」（2022.12.08）
- ・紹介：第11回介護経営サミット「当ホームのLIFEフィードバック等の活用事例」（2022.9.28）

✓公益社団法人全国老人福祉施設協議会 東海北陸ブロック老人福祉施設協議会

- ・老人福祉施設研究大会（富山オンライン大会）において、
7年連続で実践事例を報告（2022.9.5-9.30）

✓ブルーオーシャンシステムズ様

- ・紹介：BOSオンラインセミナー「LIFEへの取り組みとフィードバック活用事例」（2023.3.27）



(1)みえ福祉第三者評価※7の受審

✓みえ福祉第三者評価基準 高齢者版：45項目

評価	今回	前回【平成28年度・2016年度】
A 評価	40項目（ 89%(↑)）	38項目（ 72%）
B 評価	5項目（ 11%(↓)）	15項目（ 28%）
C 評価	0項目（ 0%(-)）	0項目（ 0%）
計	45項目（100% ）	53項目（100%）

(2)外部機関、他産業との連携・協力

✓試用

事業名	日程	実施機関	備考
カメラ系センサー 「HitomeQ(ヒトメク)」トライアル	6～8月	コニカミルタQOLソリューションズ [®] 株式会社様	
パワースーツ 「J-PAS fleairy」 (ジェイパスフレアリー)改良品	9月～ 	株式会社 ジェイテクト様	カバー・外付けファン・膝パッド [®]
換気状態の見える化サービス 「Airoco(エアロコ)」	12月～	中部電力株式会社様	
見守り・AI離床検知カメラシステム 「ヴォクセラVケア」	1月～	Voxela inc様	

✓協力（実証等）

事業名	日程	実施機関	備考
「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」	5月～ 革新	株式会社三菱総合研究所様	厚生労働省R4 実証事業
「認知症の認知機能、生活機能の評価尺度のあり方に関する調査研究事業」	12～3月	みずほリサーチ&テクノロジーズ [®] 株式会社様	厚生労働省R4 老健事業
「科学的介護に向けた質の向上支援等事業 事例収集」ヒアリング	12月～ 	株式会社三菱総合研究所様	厚生労働省R4 老健事業

※7）みえ福祉第三者評価：三重県では、福祉サービスの内容などを利用者・事業者以外の第三者（評価機関）が評価を行い、「評価結果」を出すとともに、事業者自らが提供しているサービスを評価する「自己評価」を行い、事業者自らが課題点、問題点等の「気づき」につなげ、「改善計画」を策定し、それを実行することにより「福祉サービスの質の向上」を図る、「みえ福祉第三者評価」を実施しています。（三重県ホームページ）

✓協力（調査、取材）

事業名	日程	実施機関	備考
カメラセンサー「Neos+Care」利活用動画撮影	4月	N&Fテクノロジー株式会社様	
「認知症ケア実践における外国人介護士の異文化ストレスおよびケア困難感の実態調査」回答	5月	鈴鹿医療科学大学看護学部様	
介護ビジョン「外国人介護人材アンケート」回答	5月	株式会社日本医療企画様	
広報誌『福祉みえ7月号「そうだ先輩に聞こう」』回答	7月	社会福祉法人三重県社会福祉協議会様	
広報素材にかかる取材・撮影	12月～1月	株式会社ジェイテクト様	

事業名	日程	実施機関	備考
「介護老人福祉施設における外国人技能実習生の雇用等に関するアンケート調査」回答	11月	西南学院大学人間科学部社会福祉学科様	
「介護職員の就労継続意識と心理的安全性に関する調査研究」回答	11月	青森県立保健大学健康科学部様	
「福祉避難所の量的確保及び質的確保に係る課題に関する実態調査」回答	11月	MS&ADインターリスク総研株式会社様	
「腰痛予防対策に関するアンケート調査」回答	11月	中央労働災害防止協会様	
「科学的介護に向けた質の向上支援等事業」協力	11月	株式会社三菱総合研究所様	厚生労働省R4老健事業
「認知機能の評価表検証調査」協力	11月	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社様	厚生労働省R4老健事業
「介護施設等におけるカメラタイプの見守り機器の効果的な活用に向けた実態調査に関する実態調査研究事業」回答	12月	株式会社日本総合研究所様	厚生労働省R4老健事業
「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組に関する調査研究事業」回答	12月	一般社団法人日本健康・栄養システム学会様	厚生労働省R4老健事業

事業名	日程	実施機関	備考
「特別養護老人ホームの看取りに向けたケアマネジメントのに関する調査研究」 回答	12月	佐久大学人間福祉学部様	
「J-PAS fleairy」の使用状況に関するヒアリング 革新	12月	九州工業大学生命体工学研究科様	
「介護サービスの質の評価指標の開発に関する調査研究」 回答、ヒアリング 革新	12月	PwCコンサルティング合同会社様	厚生労働省R4老健事業
「鈴鹿亀山地区サービス提供事業所調査」 回答	12月	鈴鹿亀山地区広域連合	
「ケアマネジメント等にかかる調査」 回答	12月	鈴鹿亀山地区広域連合	
「介護現場での自立支援促進に係る取組に関する調査」 回答	12月	PwCコンサルティング合同会社様	厚生労働省R4老健事業
「介護老人福祉施設における介護ロボットの導入・利用等の状況に関する調査」 回答	2月	大阪商業大学総合経営学部様	
「特別養護老人ホームにおける看護職の人材マネジメント指標の開発に関する研究」 回答	3月	関東学院大学看護学部看護学科様	文科省科学研究費事業
「介護職員による高齢者虐待を含む不適切ケア防止対策に関するWebアンケート」 回答	3月	中部学院大学短期大学部	
「介護福祉士の専門的自律性を評価する尺度の開発に関するアンケート調査」 回答	3月	目白大学人間学部人間福祉学科	

✓質問への回答等

革新

事業名	日程	相手先	備考
「介護ロボットに関する質問」 回答	7月	東京都中学校生徒様	電子メール
「ICT利活用に関する質問」 回答	10月	長野県特別養護老人ホーム職員様	電子メール
「LIFEフィードバックに関する質問」 回答	1月	富山県社会福祉法人職員様	電話
「LIFE研修会に関する質問」 回答	2月	島根県介護施設管理者様	電子メール

事業名	日程	相手先	備考
「LIFE研修会に関する質問」回答	2月	新潟県老人福祉施設協議会様	電子メール

✓意見交換、情報交換

内 容	日程	相手先	備考
ICT・介護ボット・LIFE(オンライン)	4月	鈴鹿市内社会福祉法人様	
介護事業所におけるICT・IoT※8の活用等(オンライン)	5月 11月	&ConsultingFirm様	
実証事業結果報告及びHitomeQ(ヒトメ)トライアルの説明(オンライン)	4月	コニカミルタQOLソリューションズ株式会社様	
処遇改善加算計画・報告様式の事務(オンライン)	8月	伊賀市内社会福祉法人様	
インカムの利活用、介護施設の現状等(オンライン)	9月	日栄無線株式会社様	
HitomeQ(ヒトメ)報告会(対面・オンライン)	11～2月	コニカミルタQOLソリューションズ株式会社様	

✓実習生受入

内 容	日程	相手先	備考
管理栄養士臨地実習	2月	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科様	  

✓掲載

内 容	日程	相手先	備考
Twitter『当ホームページ：カメラ系センサー「HitomeQ」紹介記事』	6月	コニカミルタQOLソリューションズ株式会社様	
各事業についての紹介(サービス内容、特徴等)	7月	健達ねっと様	
パワーアシストスーツ「J-PAS freairy」導入事例 YouTube	10月	株式会社ジェイテクト様	
パワーアシストスーツ「J-PAS freairy」リーフレット導入事例掲載	3月	株式会社ジェイテクト様	

※8) IoT: Internet of Things、モノのインターネット
 様々な「モノ(物)」がインターネットに接続され(単に繋がるだけではなく、モノがインターネットのように繋がる)、
 情報交換することにより相互に制御する仕組み(「Wikipedia」)

(3)科学的介護情報システム(LIFE)フィードバック事業所票データ

革新

主な項目	当ホーム(R5.2.28)	全国平均(R5.2.28)
要介護度	3. 9 5 >	3. 7 0
障がい高齢者の日常生活自立度※ ⁹ (ランクB以上)	7 6. 3 % <	7 8. 4 %
認知症高齢者の日常生活自立度※ ¹⁰ (ランクIII以上)	9 0. 8 % >	7 5. 2 %
ADL合計点※ ¹¹ (30点以上)	6 0. 5 % >	3 8. 4 %
BMI※ ¹² (18.5以上)	7 8. 9 % >	5 9. 4 %
低栄養状態のリスクレベル※ ¹³	「低」 2 7. 6 % < 「中」 4 7. 4 % < 「高」 2 5. 0 % >	「低」 3 4. 2 % 「中」 4 9. 3 % 「高」 1 6. 5 %
褥瘡がある入居者の割合	2. 6 % <	3. 8 %
歯・入れ歯が汚れている	6. 6 % <	2 6. 4 %
むせやすい	2 3. 7 % <	3 0. 9 %
誤嚥性肺炎の発症・既往	1. 3 % <	8. 9 %
DBD-13※ ¹⁴ 合計点	5. 0 8 >	4. 7 3
(意思疎通) 自分から挨拶する・話しかける	5 2. 6 % >	3 1. 5 %
(意思疎通) 挨拶・呼びかけに対して返答や笑顔が見られる	4 2. 1 % <	5 8. 0 %

※ 9) 障がい高齢者の日常生活自立度：

B「屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ」

C「1 日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する」

※ 1 0) 認知症高齢者の日常生活自立度：

Ⅲ「日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが見られ、介護を必要とする」

Ⅳ「日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」

M「著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする」

※ 1 1) 日常生活動作(ADL)に関する機能的評価指標で10項目について得点評価を行う

得点が高いほど機能的評価も高い

※ 1 2) BMI (Body Mass Index) : [体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値、肥満や低体重の判定に用いる

※ 1 3) 低栄養状態のリスクレベル：

リスク分類	「低」リスク	「中」リスク	「高」リスク
BMI	18.5以上	18.5未満	
体重減少率	変化なし (減少3%未満)	1か月に3～5%未満 3か月に3～7.5%未満 6か月に3～10%未満	1か月に5%以上 3か月に7.5%以上 6か月に10%以上
血清アルブミン値	3.6mg/dl以上	3.0～3.5mg/dl	3.0mg/dl未満
食事摂取量	76～100%	75%以下	
栄養補給法		経腸栄養法 静脈栄養法	
褥瘡			褥瘡

※ 1 4) DBD-13 (Dementia Behavior Disturbance Scale) : 認知症行動障害尺度(13項目)

(4) イベント等

✓ 創立29周年記念お食事会

- ・ 令和4年 4月29日（金）

✓ 敬老祝賀お食事会

- ・ 令和4年 9月19日（月・敬老の日）

✓ クリスマス会

- ・ 令和4年12月17日（土）

✓ 音楽会（オンライン）

- ・ 令和4年4月～令和5年3月
- ・ 計711回開催、Web教室16回開催



(5) 今年度追加実装したテクノロジー

✓ Neos+Care（ネオケア）

- ・ カメラ系センサーロボット ・ ノーリフト レジ ョン社製 ・ 20台（計20台）
- ・ C棟 ・ 三重県介護ロボット導入支援事業対象

(6) ご入居者ご家族アンケート結果



(7) 学びの機会

- ・ 「8.研修受講等、学びの機会」をご参照ください

✓医療係

①医療的支援

②褥瘡予防、褥瘡マネジメント：

- ・特別養護老人ホーム「(3)科学的介護情報システム（LIFE）フィードバック事業所票データ」をご参照ください

③看取りケア：延べ929日実施

④個別機能訓練

- ・特別養護老人ホーム「(3)科学的介護情報システム（LIFE）フィードバック事業所票データ」をご参照ください

⑤感染症予防、発生時の対応

- ・感染症シミュレーション：4回実施
- ・感染症発生状況（ホーム・事業所関連）



	ワクチン接種	陽性者		ホーム内・事業所 内療養者
		入居者・利用者	職員	
新型コロナウイルス感染症	2回	25名	35名	5回・計25名
インフルエンザ	1回	0名	0名	0名
ノロウイルス等感染性胃腸炎	—	0名	0名	0名



- ・職員の社会的（PCR）検査：延べ4,148名検査（4月～3月・陽性15名）

⑥学びの機会：「8.研修受講等、学びの機会」をご参照ください

✓総務係 栄養・調理部門

①栄養マネジメント



- ・特別養護老人ホーム「(3)科学的介護情報システム（LIFE）フィードバック事業所票データ」をご参照ください

②農林水産省「野菜サポーター」登録

- ・令和4年9月26日登録



③衛生管理：害虫駆除：2回実施(法定)、HACCP※15に基づいた食事提供

④情報発信：ホームページグリーンホームだより 1,157回公開

⑤学びの機会：

- ・「8.研修受講等、学びの機会」をご参照ください



※15) HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point)：食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法（厚生労働省ホームページ）

3. ショートステイ 鈴鹿グリーンホーム

～Good practice～

✓「J-PAS」利活用動画の撮影協力

・パワースーツ型ロボット ・ジェイテクト社製



✓Neos+Care（ネオケア）の追加実装

・カメラ系センサーロボット ・ノーリツプロレジジョン社製 ・4台（計10台）

(1) 学びの機会

・「8.研修受講等、学びの機会」をご参照ください

4. ショートステイ 鈴鹿グリーンホーム 翠風

～Good practice～

✓「Neos+Care」（ネオケア）利活用動画の撮影協力

・カメラ系センサーロボット ・撮影：N&Fテクノサービス株式会社様

✓「ACERA1110」利活用リーフレットの作成協力

・無線LANアクセスポイント ・撮影：株式会社フルシステムズ様

✓「HitomeQ」（ヒトメク）の実装

・カメラ系センサーロボット ・コニカミルタQOLソリューションズ株式会社製
・10台（計10台）

✓「アイスペック」のデータ収集協力 **革新**

・バイタル見守り機器（仮称） ・三重電子株式会社製
・機能：バイタルサイン、離床、ナースコール ・1台



(1) 学びの機会

・「8.研修受講等、学びの機会」をご参照ください

✓ユニットケアチェックリスト（特別養護老人ホーム8ユニット/ショートステイ1ユニット/翠風2ユニット）

評価	一昨年度末		昨年度末		令和5年3月31日
○	358	→	374	→	381（+7）
△	52	→	35	→	32（▲3）
×	16	→	15	→	11（▲4）
評価	一昨年度末		昨年度末		令和5年3月31日
○	50	→	51	→	51（±0）
△	3	→	2	→	2（±0）
×	0	→	0	→	0（±0）
評価	一昨年度末		昨年度末		令和5年3月31日
○	（未開設）	→	80	→	102（+22）
△	（未開設）	→	22	→	4（▲18）
×	（未開設）	→	4	→	0（▲4）

・コロナ禍においてもできることを実施【ユニット内イベント、オンライン活用（音楽会・体操・花見・鑑賞等）、移動販売車の活用など】

5. デイサービスセンター 鈴鹿グリーンホーム

～Good practice～

✓機能訓練用アプリ「モトレ」導入 **革新**

・ウェアラブル端末 Moffバンド を装着したオンライン体操 **革新**
台湾 龍骨王社製 歩行状態測定デバイス試用
・アプリ「GaitBEST」「Majesty」試用による転倒予測
※上記2機種を組み合わせることで機能訓練への活用を模索



(1) ご利用者・ご家族アンケート結果

(2) 学びの機会

・「8.研修受講等、学びの機会」をご参照ください

(3) R5年度より「事業所評価加算」を算定

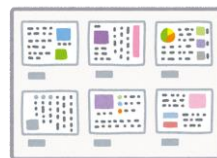


6. 鈴鹿グリーンホーム 居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)

～Good practice～

✓調査研究事業への協力

- ・「LIFEを活用した取り組み状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」（LIFEモデル事業、8月～） **革新**
- ・「居宅介護支援および介護予防支援における令和3年度介護報酬改定の影響に関する調査研究事業（12月～）」



✓テレワーク・モバイルワークへのチャレンジ **革新**

- ・オンラインによる業務（在宅勤務、会議・ミーティングへのオンライン開催・出席、サービス担当者会議のオンライン開催等）



(1) 居宅介護支援会議

- ・51回開催【目的：利用者に関する情報又はサービス提供にあたっての留意事項に係る伝達等】

(2) 介護支援専門員実務者研修生の受け入れ

- ・1名受け入れ

(3) 特定事業所集中減算

- ・なし

(4) 「鈴鹿市認知症高齢者等安心見守りシール交付事業※16」

(5) R5年度に向けた「ケアプランデータ連携システム※17」への対応準備

- ・導入説明会参加（2022.8.17）

(6) 協力（調査研究）

- ・Topicsのとおり

※16）認知症高齢者の方が行方不明になったときに、発見者がシールの二次元コードを読み取ることで、速やかに家族などに安否が通知され、早期発見や保護につながります。（鈴鹿市ホームページ）

※17）国民健康保険中央会では、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所との間で毎月やりとりされるケアプランの一部情報（予定・実績）をデータ連携するシステム構築しています。

ケアプラン（提供票）をデータで送受信できるようになり、業務の負担軽減に繋がります。

●データ連携で、作業時間の削減やコスト削減が期待できます

サービス提供票や居宅サービス計画書など、手書き・印刷し、FAXや郵送などでやりとりしていた書類をシステム上でデータの送受信ができるようになり、業務負担軽減が期待できます。（国保中央会リーフレットVer.2）

7.在介係（介護予防・介護支援、地域における公益的な取組）

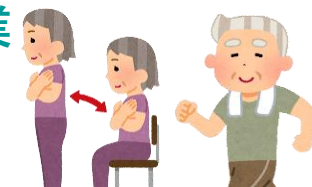


革新

～Good practice～

✓鈴鹿市フルル※18 予防プログラム連携アクション事業

- ・ 鈴鹿市受託事業 ・ 事業開始：令和4年度
- ・ 対 象：鈴鹿第1圏域（椿・鈴峰・庄内・深伊沢・久間田・石薬師・加佐登地区）のサロン
- ・ 参加サロン：11箇所／17箇所中
- ・ 登録者数：179名
- ・ 事業参加継続率：71.6%（2回の体力測定者：101名）
- ・ 自宅での運動継続率：4.9%（1回目の体力測定に参加した141名が対象）
- ・ 身体機能の維持・改善率：34.0%（維持18名・改善28名（141名中））



※18）フルル：要介護状態に至る前段階として位置づけられています。身体的脆弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいリスクな状態を意味します。（「フルル診療ガイド 2018年版」（日本老年医学会／国立長寿医療研究センター））

(1) 鈴鹿市受託事業

- ✓鈴鹿市介護予防普及啓発事業（Web教室）：計16回、5名参加
- ✓鈴鹿市高齢者見守り体制整備事業：計0回
- ✓鈴鹿市高齢者緊急一時保護事業：計0回

(2) 地域における公益的な取組

✓協力・参画・登録事業

- ①社会福祉法人等による利用者負担軽減
- ②鈴鹿市行方不明高齢者等のための安心ネットワーク活動
（三重県鈴鹿警察署・鈴鹿市・鈴鹿市社会福祉協議会）
- ③鈴鹿市認知症高齢者等安心見守りシール交付事業（鈴鹿市）
- ④安全・安心パトロール（鈴鹿市青少年対策推進本部）
- ⑤三重県社会福祉法人地域公益活動「みえ福祉の『わ』創造事業」
- ⑥福祉避難所設置運営に関する協定（鈴鹿市）
- ⑦災害時相互支援協定（鈴鹿地区老人福祉施設協会）
- ⑧三重県災害派遣福祉チームDWAT（三重県災害福祉支援ネットワーク）
- ⑨感染症発生時における職員派遣覚書（三重県老人福祉施設協会）

✓法人独自事業

- ①車いす等の無料貸出
- ②障がい者・高齢者等就職困難者の雇用推進
- ③感染症予防や熱中症予防、特殊詐欺防止等の啓発
- ④AEDの設置（A棟）
- ⑤講師・スタッフの派遣
- ⑥制度改正情報等の提供 など

8. 研修受講等、学びの機会

～Good practice～

✓外部研修 : 65回、内部研修 : 39回



✓うちオンライン研修 : 75回、現地研修 : 29回 計104回

✓延べ受講者数 : 215名

- ・ 全員受講の研修は含んでいない
- ・ 別紙「8. 研修受講等、学びの機会」のとおり



1.法人運営(総務係)

目標:「サービスの質向上と業務負担軽減の両立を目指す」(“よくなる”×“楽する”)

年度当初に計画した取組内容:

- (1) ジョブローテーション(複数職務の経験機会)の実施(人材活用、事業継続性)
- (2) 生産性向上(業務改善、昨年度までに整備した設備、機器等の活用(ICT・ホット等テクノロジー)の活用促進(IoT化促進、「時間」と「場所」を選ばない働き方の推進、新たな活用方法の創出、現場革新、実証、PR、助成金活用、各種マニュアルの更新等))
- (3) ホームページ等による情報公開、情報発信(目標:年間70万ページビュー)
- (4) 「みえ福祉第三者評価」の受審(→特別養護老人ホーム)
- (5) 外国人介護人材等、多様な人材の雇用促進
- (6) 研修受講推進(→「8.研修受講等、学びの機会」のとおり)
- (7) 介護予防、各種加算算定促進
- (8) 抱えない介護、転倒防止の推進
- (9) 地域における公益的事業の実施
- (10) 地域、外部機関、関係各団体との連携、情報交換

【評価】☀ :達成できた (75-100%)
 ☀/☀ :ほとんど達成できた (50-75%)
 ☀ :あまり達成できなかった (25-50%)
 ☔ :ほとんど達成できなかった (0-25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀	ジョブローテーション移行開始	4月1日～実施
	☀	消防訓練(本館3棟・翠風)	4月13日実施
	☀	井戸水質検査(本館・翠風)	異常なし
	☀	本館(A棟)修繕【令和3年度から継続】	修繕完了
	☀/☀	創立29周年記念行事(29日)	30ヶ所によりイベントを中止しお祝い料理を提供
5	☀	監事監査	5月16日実施
	☀	内部経理・予算監査	5月17日実施
	☀	理事会	5月24日開催
	☀	消防用設備等点検(本館・翠風)	5月12日、13日実施
6	☀	定時評議員会	6月7日開催
	☀	上期人事考課(20日)	職員69名考課
	☀	OJTチェックリスト研修	6月23日～追加実施
8	☀	職員健康診断	12月24日実施
	☀	アンケートの実施(利用者・家族・職員、～10月)	6月1日～実施

月	評価	計画実施内容	コメント
9	☀️/🍁	敬老祝賀会(19日)	コロナ禍によりイベントを中止しお祝い料理を提供
11	☀️	理事会	決議省略:7月12日、9月20日、11月17日
	☀️	評議員会	決議省略:11月24日
	☀️	インフルエンザ 予防接種	10月実施
	☀️	消防用設備等点検(本館棟・翠風棟)	11月10日、11日実施
	☀️/🍁	グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	コロナ禍によりイベントを中止し取組報告動画を撮影・公開
	☀️	職員目標設定	11月2日までに実施
12	☀️	下期人事考課(15日)	職員73名考課、パートタイマー35名考課(3月)
	☀️/🍁	クリスマス会(17日)	コロナ禍により、イベントを中止しお祝い料理を提供
2	☀️	職員健康診断	2月15日実施
3	☀️	理事会	3月10日実施
	☀️	評議員会	3月24日実施
	☀️	安全運転・腰痛予防研修	3月8日～31日実施
	☀️/🍁	ジョブローテーション移行完了	職員1名、1月1日～産前休暇
通年	☀️	月例会(原則毎月1日)	コロナ禍によりオンライン併用で開催
	☀️	幹部会議(原則毎月20日)	
	☀️	会計監査(毎月)	コロナ禍によりオンライン併用で実施
	☀️	社会保険労務士労務顧問契約	電話・Eメール等で対応
	☀️	防火管理、建築物、電気工作物、浄化槽、昇降機等の月次点検及び年次点検(本館棟・翠風棟)	期日までに実施
	☀️	感染症予防	医務係「⑤感染症予防、発生時の対応」のとおり
不定期	☀️/🍁	採用時研修(採用時のしおり)	オンライン併用としたが、採用後直ちに実施できないケースがあった
	☀️	感染症にかかるワクチン接種の実施	4回目:7月実施 5回目:11月実施

2.特養係（特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム）

目標：〈介護・相談部門〉「2040に繋ぐ未来のバトン」

目標：〈介護支援専門員〉「コスパ（コストパフォーマンス＝費用対効果）とタイパ（タイムパフォーマンス＝時間対効果）を意識した業務をしよう！～業務効率化と良質な介護サービスの提供～」

年度当初に計画した取組内容：

- (1) LIFE、各種加算への取組（根拠のある良質な介護サービスの提供と入居者の生活の質向上）
- (2) 機能訓練、栄養ケア、認知症ケア、口腔ケア、排泄ケア、褥瘡ケアマネジメント（LIFEのフィードバック活用、ケアプラン・各種計画書のPDCAサイクル管理）
- (3) 「みえ福祉第三者評価」受審
- (4) デジタルトランスフォーメーションの推進、テクノロジー（ICT・介護ロボット・機器）の利活用・連動（IoT）
- (5) 人材育成・定着・活用
 - ①育成活動
 - (i)人事考課（6月、12月）、職員自己目標の設定（11月）、個別育成計画
 - (ii)研修受講：オンラインの活用、学び・多職種・他業種との意見交換の機会
 - (iii)介護記録ソフト、LIFE等（職員が同じレベルで使用、業務効率化）
 - ②人材定着
 - (i)経営理念等に基づいた運営、ガバナンス（組織における統治）の徹底
 - (ii)職場の環境整備、働き方改革
 - ・抱えない介護（ロボット、機器、器具等）の推進
 - ・ICT（情報通信技術）、介護ロボット、インカム、機器・器具、AI等の利活用及び効果検証
 - ・効率の良いコミュニケーション方法、タイパを意識、ペーパレス化
 - ③人材活用
 - (i)外国介護人材の雇用に関する取り組み
 - (ii)高年齢者の雇用（業務分担の推進等）、ボランティア等からの支援
- (6) ホームページ等による取組活動の見える化
- (7) その他
 - ①非常災害対策（天災、火災、感染症等）
 - ②地域における公益的事業の実施
 - ③法令遵守

【評価】☀️：達成できた（75－100%）
 ☀️/🍀：ほとんど達成できた（50－75%）
 🍀：あまり達成できなかった（25－50%）
 ☂️：ほとんど達成できなかった（0－25%）

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀️	入居者健康診断	医務係主体で実施
	☀️	消防訓練	13日
	☀️/🍀	創立29周年記念行事（29日）	お祝い料理を提供
	☀️/🍀	制度改正勉強会	業務改善会議・工社会議内で実施
6	☀️	上期人事考課（20日）	24名考課
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施

月	評価	計画実施内容	コメント
6	☀	身体拘束適正化研修	30名受講
8	☀	職員健康診断	12月に実施
	☀	アンケートの実施(入居者家族・職員、～10月)	ホームページにおいて公表
	☀/☘	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)勉強会	総務係・生活相談員受講
9	☀	敬老祝賀会(19日)	お祝い料理を提供
	☀	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(富山オンライン大会)	事例発表(動画)
10	☀	感染症対策研修会	9・11・3月の計3回(医務係主導)
	☀	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	10月1日によりR5.3実施
	☀/☘	大掃除	
	☀	外国人介護人材雇用	9月、11月、1月計4名雇用
11	☀	インフルエンザ 予防接種	10～11月接種
	☀/☘	グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	動画2本公開
	☀	職員目標設定	全員設定
12	☀	下期人事考課(15日)	23名考課
	☀	クリスマス会(17日)	お祝い料理を提供
	☀	身体拘束適正化研修	34名受講
1	☘	普通救命講習・喀痰吸引等研修	10月1日により中止
2	☀	職員健康診断	
3	☀	安全運転・腰痛予防研修	オンラインを活用し受講
通年	☀	業務改善会議(エグゼクティブ会議・毎月・オンライン対応)	オンラインを活用し、毎月開催
	☀	エグゼクティブ会議(毎月・オンライン対応)	対面・オンライン併用し毎月開催
	☀	月例会(原則毎月1日)	対面・オンライン併用し毎月開催
	☀	幹部会議(原則毎月20日)	対面・オンライン併用し毎月開催
	☀	サービス担当者会議	毎月開催(3月毎)
不定期	—	連携会議(各部署代表者)	4月開催(随時開催)
	☀	口腔ケアに関する研修会(年2回以上)	歯科衛生士勤務時実施
	☀	その他必要な学び等研修等機会の確保	別紙「8. 研修受講等、学びの機会」のとおり

3.特養係（ショートステイ鈴鹿グリーンホーム）

目標:「Road to 2040 Project(サステナビリティ:法人の持続可能性)」

年度当初に計画した取組内容:

- (1)ビジネスマナーを常に意識する
 - ①失礼な振る舞いは NG
 - ②法人理念は浸透率 100%
 - ③5S(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)に対する意識の重要性
- (2)稼働率と収益率向上のシステム作り
 - ①稼働率の安定化、収益率の向上
- (3)職員教育を根幹に『ステイタス、Value』:各ユニットにおいて模索
 - ①ニーズを理解する(アセスメントの重要性)
 - ②個別ケアの推進
 - ③ご家族に対しても個別ケアを推進
 - ④日常業務内での職員教育(ICT・介護ロボット・IoT・外国人介護人材の活用スキル)
- (4)情報発信
 - ①多いほどよりよい
 - ②動画(法人理念・介護現場の就業シーン)
 - ③困っている所に手が届くサービスの構築(緊急時・非日常的な対応)
- (5)人材の確保、配置
- (6)業務効率化
 - ①ICT・介護ロボットの活用、IoT 化
 - ②職員配置(2.35:1)でも利用したいショートステイサービスの構築
- (7)新規ビジネスモデルの模索 より一層の好循環と地域包括ケアシステム構築を目指したビジネスモデルの検討

【評価】☀️ :達成できた (75－100%)
 ☀️/☀️ :ほとんど達成できた (50－ 75%)
 ☀️ :あまり達成できなかった (25－ 50%)
 ☔️ :ほとんど達成できなかった(0－ 25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀️	消防訓練	
	☀️	創立29周年記念行事(29日)	
6	☀️	上期人事考課(20日)	
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施
	☀️	身体拘束適正化研修	
8	☀️	職員健康診断	
	☀️	アンケートの実施(職員、～10月)	
9	☀️	敬老祝賀会(19日)	
10	☀️	感染症対策研修会	
	☀️	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	10月過によりR5.3実施
	☀️	大掃除	

月	評価	計画実施内容	コメント
10	☀	外国人介護人材雇用	
11	☀	インフルエンザ 予防接種	
	☀	グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	
	☀	職員目標設定	
12	☀	下期人事考課(15日)	
	☀/🍷	クリスマス会(17日)	
	☀	身体拘束適正化研修	
1	☂	普通救命講習・喀痰吸引等研修	ｺﾛﾅ禍により中止
2	☀	職員健康診断	
3	☀	安全運転・腰痛予防研修	
通年	☀	業務改善会議(エリートリーダー会議・毎月・オンライン対応)	
	☀	エリート会議(毎月・オンライン対応)	
	☀	月例会(原則毎月1日)	
	☀	幹部会議(原則毎月20日)	
	☀	サービス担当者会議	
不定期	☀	連携会議(各部署代表者)	

4.特養係（ショートステイ鈴鹿グリーンホーム翠風）

目標：「Road to 2040 Project(サステナビリティ:法人の持続可能性)」

年度当初に計画した取組内容：

- (1)ビジネスマナーを常に意識する
 - ①失礼な振る舞いは NG
 - ②法人理念は浸透率 100%
 - ③5S(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)に対する意識の重要性
- (2)稼働率と収益率向上のシステム作り
 - ①稼働率の安定化、収益率の向上
- (3)職員教育を根幹に『ステイタス、Value』:各ユニットにおいて模索
 - ①ニーズを理解する(アセスメントの重要性)
 - ②個別ケアの推進
 - ③ご家族に対しても個別ケアを推進
 - ④日常業務内での職員教育(ICT・介護ロボット・IoT・外国人介護人材の活用スキル)
- (4)情報発信
 - ①多いほどよりよい
 - ②動画(法人理念・介護現場の就業シーン)
 - ③困っている所に手が届くサービスの構築(緊急時・非日常的な対応)
- (5)人材の確保、配置
- (6)業務効率化
 - ①ICT・介護ロボットの活用、IoT 化
 - ②職員配置(2.35:1)でも利用したいショートステイサービスの構築
- (7)新規ビジネスモデルの模索 より一層の好循環と地域包括ケアシステム構築を目指したビジネスモデルの検討

- 【評価】☀️ :達成できた (75－100%)
 ☀️/☀️ :ほとんど達成できた (50－ 75%)
 ☀️ :あまり達成できなかった (25－ 50%)
 ☔ :ほとんど達成できなかった(0－ 25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀️	消防訓練	13日、1名出席
	☀️/☀️	創立29周年記念行事(29日)	お祝い料理を提供
6	☀️	上期人事考課(20日)	
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施、10名受講
	☀️	身体拘束適正化研修	24日、10名受講
8	☀️	職員健康診断	
	☀️	アンケートの実施(職員、～10月)	10名回答
9	☀️	敬老祝賀会(19日)	お祝い料理を提供
10	☀️	感染症対策研修会	27日、10名受講
	☀️	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	10月火災によりR5.3実施、2名受講
	☀️	大掃除	12月に実施

月	評価	計画実施内容	コメント
10		外国人介護人材雇用	1名雇用
11		インフルエンザ 予防接種	10月に実施
		グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	併設短期と合同で動画公開
		職員目標設定	実施
12		下期人事考課(15日)	11名考課
		クリスマス会(17日)	お祝い料理を提供
		身体拘束適正化研修	23日、12名受講
1		普通救命講習・喀痰吸引等研修	実施なし
2		職員健康診断	全員受診
3		安全運転・腰痛予防研修	8～31日、12名受講
通年		業務改善会議(エリートリーダー会議・毎月・オンライン対応)	3名出席
		エリート会議(毎月・オンライン対応)	全員出席
		月例会(原則毎月1日)	オンラインを活用し出席
		幹部会議(原則毎月20日)	オンライン、対面併用で出席
		サービス担当者会議	担当ケアマネジャー招集時に出席
不定期		連携会議(各部署代表者)	4月欠席

✓医務係

目標：「健康危機の予防と発生時の対応に責任をもつ」

年度当初に計画した取組内容：

(1)看取りケアの充実

- ①ご入居者を主体とした看取りケア
- ②意思決定・尊厳を保った個別ケアの推進
- ③ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実施及び研修、勉強会の実施(年1回以上)
- ④入居者様・家族様と多職種とのACPIについて話し合い推進、多様化する看取りケアへの対応
- ⑤喀痰吸引等研修・普通救急救命講習会の受講
- ⑥ショートステイ・在宅ご利用者の看取りケア支援

(2)感染症予防の徹底

- ①新型コロナウイルス等感染症のまん延防止、多職種との情報交換・連携強化
- ②感染予防対策の徹底、啓発(手洗い・うがい・消毒・換気・防護衣着用・体調管理等)
- ③勉強会の実施(年複数回、オンラインによる研修参加推奨)
- ④各種予防接種の実施(インフルエンザ・新型コロナウイルス・肺炎球菌等)
- ⑤検査キットの積極活用
- ⑥多職種連携

(3)認知症高齢者への支援・ケアの向上

- ①苦痛緩和や意思決定の尊厳を保持したケア推進
- ②認知症ケアに関する研修・勉強会の実施(年1回以上)
- ③認知症を理解したケアの展開(認知症の行動・心理症状(BPSD)を含む)
- ④情報収集、アセスメント
- ⑤行動制限を行わない
- ⑥《快》なケアの提供

(4)業務改善・業務効率化

- ①医療ニーズの高いご利用者、経管栄養・排尿カテーテル・人工肛門等のケア、インスリン注射・吸痰ケアが必要な方への支援
- ②「サービスの質」と「業務の負担軽減」の両立
- ③優先度を定め、業務分担化を図る

【評価】☀️ : 達成できた (75－100%)

☀️/☘️ : ほとんど達成できた (50－ 75%)

☘️ : あまり達成できなかった (25－ 50%)

☔️ : ほとんど達成できなかった (0－ 25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀️	入居者定期健康診断、レントゲン検査	計65名、X線撮影 4/28実施
	☘️	消防訓練	係内でｺﾏ陽性者有
	☀️	創立29周年記念行事(29日)	実施
5	☘️	認知症研修会	感染症研修に変更実施
6	☀️	肺炎球菌ワクチン接種	計10名
	☀️	上期人事考課(20日)	実施
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施

月	評価	計画実施内容	コメント
6	☀	身体拘束適正化研修	7月に変更、全員受講
7	☀	看取りケア研修会	3月に変更実施
8	☀	職員健康診断	全員受診
	☀	褥瘡予防研修会	10月に変更実施
9	☀	敬老祝賀会(19日)	実施
10	☀	感染症対策研修会	9・11・3月の計3回
	☀	入居者定期歯科検診	3月に変更実施
	☀	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	10月火災によりR5.3実施
	☀	大掃除	12月に変更実施
11	☀	インフルエンザ 予防接種	10月に変更実施
	☀	グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	感染症対策について動画公開
	☀	職員目標設定	実施
12	☀	下期人事考課(15日)	実施
	☀	クリスマス会(17日)	実施
	☀	身体拘束適正化研修	2月に変更実施
1	☘	普通救命講習・喀痰吸引等研修	10月火災により中止
2	☀	職員健康診断	夜勤者なし
3	☀	安全運転・腰痛予防研修	8名受講
通年	☀	業務改善会議(エグゼクティブ会議・毎月・オンライン対応)	感染症・褥瘡対策委員会を毎月開催実施
	☀	エグゼクティブ会議(毎月・オンライン対応)	研修・勉強会を開催実施
	☀	月例会(原則毎月1日)	出席
	☀	幹部会議(原則毎月20日)	出席
	☀	サービス担当者会議	出席
不定期	☀	連携会議(各部署代表者)	4月開催出席
	☀	新型コロナウイルスワクチン接種	7・11月の計2回
	☀/☘	オンライン研修受講	別紙「8. 研修受講等、学びの機会」のとおり

✓栄養・調理部門(総務係)

目標：「デジタル×アナログできめ細やかな栄養管理に努めます」

年度当初に計画した取組内容：

(1)栄養マネジメント

介護記録システムの機能を駆使し、効率的なデータの収集と日々の食事観察(ミールアウド)、多職種からの情報を得ながら、解決すべき課題を見出し、速やかに栄養介入する

①低栄養のスクリーニング

②ミールアウドと嗜好及び食習慣等調査

③食事摂取状況、身体活動レベル、身体特性(身長・体重等)、身体機能の変化に合わせたアセスメント(課題分析)・モニタリング(観察)の実施

④LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用

(2)栄養関連加算

栄養マネジメント強化加算、経口維持加算の算定

①低栄養のリスクに応じたミールアウド(食事・摂取状況の観察)の実施

②配置医、協力歯科医、歯科衛生士との連携

③多職種による会議、ミーティング

(3)毎日の楽しみになるような献立づくり

食事でも四季を感じていただけるように

①旬の食材を使用し、季節ごとの行事食を組み込む

②事業所、ユニット毎の食事やおやつ作り企画の提案・実施

③調理スタッフとの連携、ミーティング

④安全な食事提供のための HACCP(危害分析及び重要管理点)に基づく衛生管理

(4)食事を通じての情報発信

積極的にホームページに発信していく

①食事に関するレクリエーション、季節のイベント、献立表のグリーンホームだよりへのアップ

【評価】☀️ : 達成できた (75-100%)

☀️/☘️ : ほとんど達成できた (50-75%)

☘️ : あまり達成できなかった (25-50%)

☔️ : ほとんど達成できなかった (0-25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	—	消防訓練	新入職員なし
	☘️	調理施設害虫等駆除	5月17日実施
	☀️	創立29周年記念行事(29日)	お祝い料理提供
6	☀️	上期人事考課(20日)	
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施、チェックリスト確認
8	☀️	職員健康診断	8月6日受診
9	☀️	敬老祝賀会(19日)	お祝い料理提供
10	—	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	10月火災によりR5.3実施

月	評価	計画実施内容	コメント
11	☀️/🍁	大掃除	3月31日実施
	☀️	調理施設害虫等駆除	11月24日実施
	☂️	グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	動画1本公開
	☀️	給食施設運営状況報告書提出	11月28日提出
	☀️	職員目標設定	
12	☀️	下期人事考課(15日)	
	☀️	クリスマス会(17日)	お祝い料理提供
1	☂️	普通救命講習・喀痰吸引等研修	ｺﾏ禍により中止
2	☀️	鈴鹿医療科学大学 管理栄養士臨地実習	2月13～17日 実習生2名受入れ
3	☀️	安全運転・腰痛予防研修	2、3月に受講
通年	☀️	食中毒発生及びまん延防止委員会(毎月)	12回
	☀️	給食会議(毎月・業務改善会議内)	12回
	☀️	業務改善会議(エトリダー会議・毎月・オンライン対応)	12回
	☀️/🍁	エト会議(毎月・オンライン対応)	
	☀️	月例会(原則毎月1日)	12回
	☀️	幹部会議(原則毎月20日)	1回(事業計画プレゼンテーション時)
	☀️	サービス担当者会議	
	☀️/🍁	デイサービス:おやつづくりレクリエーション	22回
	☂️	エト毎・デイサービス:食事イベント	2回
不定期	☀️/🍁	栄養、食品衛生に関する研修受講、施設外研修(オンライン等)	別紙「8. 研修受講等、学びの機会」のとおり

5.在介係（デ イサービ スセンター鈴鹿グ リーンホーム）

目標：「一歩踏み込み工夫し新たな価値を創造する」

年度当初に計画した取組内容：

- (1) 機能訓練に特化したサービスをより多くの方に利用して頂く（在宅生活維持・健康寿命延伸）
- (2) 事業所のさらなる質の向上と見える化の推進（LIFEフィードバックの活用と機能訓練結果の見える化、介護保険制度・介護報酬体系に沿ったサービスの提供、認知症ケア（環境と対応への配慮）
- (3) レクリエーション（社会参加、生活の楽しみ）の充実
- (4) 生産性向上（業務改善、昨年度までに整備した設備・機器等のフル活用（ICT・ロボット等テクノロジーの活用促進（IoT化促進、新たな活用方法の創出）
- (5) 共生型サービスへの取り組み
- (6) 障がい者（児）日中一時支援事業の提供
- (7) 積極的な情報発信の推進（PR 活動、ホームページ 発信：目標年間100本、ニュースター配布：毎月及び臨時）
- (8) 地域、事業所間、他（多）職種との連携
- (9) 研修計画に沿った学び
- (10) 感染症対策

【評価】☀️ : 達成できた (75－100%)
 ☀️/☀️ : ほとんど達成できた (50－ 75%)
 ☀️ : あまり達成できなかった (25－ 50%)
 ☹️ : ほとんど達成できなかった (0－ 25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀️	消防訓練	4月13日、3名参加
	☀️/☀️	創立29周年記念行事(29日)	お祝い料理を提供
	☀️	感染症対策研修	4月4、5日実施
	☀️	BCP(事業継続計画)研修	4月4、5日実施
	☀️	介護の基本研修	4月5日実施、1名
5	☀️	人権擁護、高齢者虐待防止研修	5月11、12日実施、17名
	☀️	身体拘束適正化研修	5月11、12日実施、17名
	☀️	腰痛予防対策と腰を痛めない介助法研修	5月4日実施、2名
6	☀️	上期人事考課(20日)	7名考課
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施
	☀️	リスクマネジメント研修	6月2、8日実施、14名
	☀️	高齢者の心身の特徴研修	6月9日実施、2名
8	☀️	職員健康診断	12月24日受診
	☀️	立ち上がりを理解する(研修)	7月5日実施、1名
9	☀️	敬老祝賀会(19日)	お祝い料理を提供
	☀️	感染症対策研修	7月5日実施、1名

月	評価	計画実施内容	コメント
9	☀	一般的介助の食事支援研修	10月12、13日実施、13名
10	☀	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	ｺﾂ禍によりR5.3実施
	☘	大掃除	随時実施に変更
11	☀	排せつケアの根拠(その1)研修	11月5日実施、2名
	☀	ｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種	10月接種
	☀	ｸﾞﾘｰﾝの秋まつり・取組報告会(3日)	動画1本公開
	☀	身体拘束適正化研修	12月6、7、10日実施、13名
	☀	片麻痺者の介護とは	12月1日実施、1名
	☀	職員目標設定	11月2日までに実施
12	☀	下期人事考課(15日)	
	☀	ｸﾘｽﾏｽ会(17日)	お祝い料理を提供
1	☂	普通救命講習・喀痰吸引等研修	ｺﾂ禍により中止
3	☀	安全運転研修 腰痛予防研修	3月25日受講 2月14、15日受講
通年	☀	定例会議(原則毎月10日)	ﾜﾗｲﾝ併用で出席
	☀	月例会(原則毎月1日)	ﾜﾗｲﾝ併用で出席
	☀	幹部会議(原則毎月20日)	ﾜﾗｲﾝ併用で出席
	☀	ｻｰﾋﾞｽ担当者会議	文書照会
	☀	感染症対策	定時消毒・換気を実施
不定期	—	連携会議(各部署代表者)	開催なし
	☀	事業所外研修(ﾜﾗｲﾝ中心)	別紙「8. 研修受講等、学びの機会」のとおり

6.在介係(鈴鹿グリーンホーム居宅介護支援事業所・ケアマネジャー)

目標：「生産性向上と地域への貢献できるように」

年度当初に計画した取組内容：

- (1) 組織、組織人としての行動
- (2) 介護保険制度、介護報酬体系に沿ったサービスの提供
- (3) テクノロジーを活用したケアマネジメントの実践(テレワーク、オンライン会議)
- (4) スピーディーな対応
- (5) ホームページ発信、ニュースター配布(随時)
- (6) ケアマネジメントサイクルに沿った業務
- (7) 居宅介護支援会議の開催(原則毎週)
- (8) 非常時の支援対策
- (9) 研修受講
- (10) ワークライフバランス(仕事と家庭の両立)

【評価】☀️ : 達成できた (75-100%)
 ☀️/☘️ : ほとんど達成できた (50-75%)
 ☘️ : あまり達成できなかった (25-50%)
 ☔️ : ほとんど達成できなかった (0-25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
4	☀️	第1・第2包括合同プラットフォーム会議	5月17日、4名出席
	☀️	消防訓練	4月13日実施、1名
	☀️/☘️	創立29周年記念行事(29日)	
	☀️	感染症対策研修	4月11日実施、5名
5	☀️	鈴鹿亀山地区広域連合集団指導	7月6日、管理者受講
	☀️	人権擁護、高齢者虐待防止研修	9日、5名受講
6	☀️	地域ケア圏域会議	12月18日、1名出席
	☀️	OJTチェックリスト研修	追加実施
	☀️	上期人事考課(20日)	4名実施
	☀️	身体拘束適正化研修	5名受講
7	☀️	第1・第2包括合同プラットフォーム会議	8月16日、4名出席
	☀️	リスクマネジメント研修	11日、5名受講
8	☀️	職員健康診断	12月24日受診
	☀️	第1・第2包括合同事例検討会	16日、4名出席
9	☀️/☘️	敬老祝賀会(19日)	
	☀️	感染症対策研修	5日、5名受講
10	☀️	消防訓練(夜間想定、事業継続にかかる訓練を含む)	3月14日実施、5名
	☀️	大掃除	12月実施

月	評価	計画実施内容	コメント
10	☀	地域77圏域会議	1月17日、1名出席
11	☀	インフルエンザ 予防接種	11月接種
	☀	グリーンの秋まつり・取組報告会(3日)	動画1本公開
	☀	人権擁護・高齢者虐待防止研修	10月27日、4名受講
	☀	鈴鹿第1・第2地域包括支援センター合同プラットフォーム会議	15日、3名出席
	☀	職員目標設定	2日までに実施
12	☀	下期人事考課(15日)	4名考課
	☀/🍷	クリスマス会(17日)	実施
1	☀	普通救命講習	実施なし
	☀	実習生受け入れ説明会	希望者なし
	☀	BCP(事業継続計画)研修	9月20日:4名、10月14日:3名受講(株式会社ワイズマン様)
	☀	他事業所との事例検討会・意見交換会	2月14日、ゆずりは居宅介護支援事業所と実施(Zoom)、5名出席
2	☀	職員健康診断(管理宿直者対象)	15日、対象者受診
	☀	安全運転・腰痛予防研修	8日～31日、全員受講
通年	☀	定例会議(原則週1回)	オンラインを活用し週1回実施
	☀	月例会(原則毎月1日)	オンライン・対面併用し毎月出席
	☀	幹部会議(原則毎月20日)	オンライン・対面併用し毎月出席
不定期	☀	77ポイント検	11月9日、1名
	☀	連携会議(各部署代表者)	1階、2名出席
	☀	事業所外研修(オンライン中心)	別紙「8. 研修受講等、学びの機会」のとおり

7.在介係(在宅介護支援)

目標：「一歩踏み込み、工夫し、新たな価値を創造する」

年度当初に計画した取組内容：

- (1)介護予防普及啓発事業の受託、実施(出前教室・Web教室)
 - ①モブ測、モブレの活用(Moff バンドの活用)
 - ②オンラインの活用、連携実施(遠隔型介護予防の実施、地域支援プラットフォームの構築)
 - ③音楽会、介護予防体操、体力測定等の実施
 - ④感染症の状況等に合わせた教室開催
- (2)高齢者見守り体制整備事業の受託、実施
- (3)地域における公益的事業の実施
- (4)積極的な情報発信の推進(熱中症・感染症予防、特殊詐欺防止啓発)
- (5)車いす等無料貸出事業の実施
- (6)地域からの相談対応、支援
- (7)地域見守り、啓発活動(安心安全ネットワーク等)
- (8)地域活動への協力

【評価】☀️ :達成できた (75－100%)
 ☀️/☀️ :ほとんど達成できた (50－ 75%)
 ☀️ :あまり達成できなかった (25－ 50%)
 ☂️ :ほとんど達成できなかった(0－ 25%)

月	評価	計画実施内容	コメント
通年	☀️	介護予防教室	※「鈴鹿市フレイル予防プログラムモデルアクション事業」実施 ※コロナ禍によりR4.6から本格実施 ※各サロンにおいて事前説明会及び見学・体験会等実施
	☀️	Web教室	
不定期	☂️	介護予防教室	

8.研修受講等、学びの機会

区 分				月	主催等	研修内容・テーマ等	受講部署・人数
外部 研修	内部 研修	オンライン 受講	現地 受講				
	●	●		4月	お茶の水ケアサービス学院様	介護の基本研修	デイサービス 1 名
●		●			お茶の水ケアサービス学院様	感染症対策事業・継続計画(BCP)研修	デイサービス全職員
	●		●		防火管理者	消防訓練 	総務係1名 特養係9名 医務係1名 デイサービス 3 名 居宅介護支援4名
	●	●		5月	お茶の水ケアサービス学院様	腰痛予防対策と腰を痛めない介助法	デイサービス全職員
●		●			三重県	社会福祉法人運営研修会	総務係1名
●		●			鈴鹿第1・第2地域包括支援センター様	合同プラットフォーム会議内研修会	居宅介護支援4名
●		●			マッス株式会社様	非装着型移乗支援ロボット「SASUKE」オンライン講習	特養係2名
	●		●	6月	法人	安全管理対策研修	全職員
●		●			三重県	障がい福祉サービス事業所職員等基礎研修	デイサービス 1 名
	●	●			お茶の水ケアサービス学院様	リスクマネジメント研修	デイサービス全職員
	●	●			お茶の水ケアサービス学院様	高齢者の心身の特徴研修	デイサービス全職員
●		●			—	参議院本会議視聴	総務係1名
●		●			慶応義塾大学様	2040独立自尊プロジェクト「超高齢社会に我々は何ができる！？～テクノロジー×社会システム」	総務係1名
	●	●		7月	エト内	接遇マナー研修	特養係6名
●		●			高齢者住宅新聞社様	高齢者住宅新聞社WEBセミナー	特養係1名
	●	●			エト内	接遇マナー研修	特養係8名
●		●			新産業文化創出研究所様	第2回機能老化の克服社会共創研究会セミナー	総務係1名
●		●			三十三銀行様	オンライン講演会「地域活性化の鍵」	総務係1名



区 分				月	主催等	研修内容・テーマ等	受講部署・人数
外部 研修	内部 研修	オンライン 受講	現地 受講				
●		●		7月	三重県介護支援専門員協会 鈴亀支部様	事例検討会	居宅介護支援4名
●		●			お茶の水クアーズ学院様	リスクマネジメント研修	居宅介護支援4名
●		●			鈴鹿亀山地区 広域連合	指定居宅介護支援事業者等集団指導	総務係1名
	●	●			エネット内	褥瘡に関する勉強会	特養係7名
●		●			慶応義塾大学 様	2040独立自尊プロジェクト 外『「研究者×産業界× 学生」動き出した2040 年問題への新たな一歩』	総務係1名
●		●		8月	みえDXセンター	第2回みえDXセンターセミナー	総務係1名
●		●			三重県災害福祉支援ネットワーク 様	三重県災害派遣福祉チーム (三重県DWAT)登録員 訓練	特養係1名
●		●				事例検討会	居宅介護支援4名
●		●		9月	お茶の水クアーズ学院様	感染症対策研修	居宅介護支援4名
●		●			全国老人福祉施設協議会	安全対策担当者養成研修	特養係6名 医務係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会・ 東海北陸ブロック老人福祉施設協議会	令和4年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(富山オンライン大会)	総務係1名 特養係2名
●		●			三重県老人福祉施設協会	高齢者の皮膚疾患、褥瘡ケア研修会	総務係1名 特養係1名 医務係1名
●		●			& Consulting Firm様	ICTシステム整備・成功の秘訣	総務係1名 特養係1名
●			●		三重県薬務課 ライフハレーション 班	みえライフハレーションシンポジウム	総務係1名 特養係1名
●		●			三重県老人福祉施設協会	カスタマーハラスメントに関する研修会	総務係1名 特養係1名
	●		●		エネット内	エネットケアに関する勉強会	特養係8名
●		●			株式会社ワイズマン様	ワイズマンオンラインセミナー(BCP(事業継続計画)、感染症対策)	居宅介護支援4名
●		●			& Consulting Firm様	自主企画セミナー:R5年厚生労働省予算概算要求から見る、科学的介護の活用方向性について	総務係1名 特養係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会	21世紀委員会代表者会議 内研修会	総務係1名

区 分				月	主催等	研修内容・テーマ等	受講部署・人数
外部 研修	内部 研修	オンライン 受講	現地 受講				
●		●		9月	高齢者住宅新聞社様	第11回介護経営サミット	総務係1名 特養係1名
	●		●	10月	みえDXセンター	第3回みえDXセンターセミナー	総務係1名 特養係1名
●		●			シルバー産業新聞様・ATCITデジタルセンター様	介護味〆〆・ICTを介護施設運営にどう生かす？	特養係1名
	●		●		ニッ内	排せつ用品に関する勉強会	特養係4名
●		●			三重県老人福祉施設協会	ICT・介護味〆〆普及促進研修会	総務係1名 特養係1名
●		●			三重県社会福祉施設経営者協議会	会計実務者養成講座	総務係1名
●		●			三重県老人福祉施設協会	人権問題・権利擁護研修会	総務係1名 特養係1名
	●		●	11月	ニッ内	J-PAS装着研修	特養係1名
●			●		ニガミタQOLソリューションズ株式会社様	HitomeQ定着導入研修	特養係3名
●		●			三重県老人福祉施設協会	介護事業所における事業継続計画(災害編)研修	総務係3名 特養係2名
●		●		12月	三重県老人福祉施設協会	人材育成に関する研修会	総務係1名 特養係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会・東北ブロック老人福祉施設協議会・四国ブロック老人福祉施設協議会	東北・四国ブロック対面ミーティング 	総務係1名
●		●			三井化学株式会社様	三井化学フォーラム2022	総務係1名
●		●			三重県・みえテクノロジーセンター様	福祉用具フォーラム2022	特養係1名
●		●			三重県老人福祉施設協会	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)研修会	総務係1名 特養係1名
●		●			高齢者住宅新聞社様	第12回介護経営サミット	特養係1名
●		●		1月	三重県老人福祉施設協会	排せつケアに関する研修会	総務係1名 特養係1名
●		●			三重県老人福祉施設協会	ああ良かったと想える看取り介護研修会	総務係1名 特養係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会	第1回全国老人福祉施設大会・研究会議～JSFリアル木～	総務係1名 特養係3名
●		●			三十三ビジネスクラブ	新春講演会「2023年の内外経済展望～激変続く世界経済と日本の課題～」	総務係1名

区 分				月	主催等	研修内容・テーマ等	受講部署・人数
外部 研修	内部 研修	ワライン 受講	現地 受講				
●		●		1月	エミナル QOLソリューションズ株式会社	HitomeQ導入支援サービス結果報告会	特養係2名
●		●		2月	三重県	第4回みえDXセンターセミナー	特養係1名
●		●			三重県老人福祉施設協会	防災研修会	総務係1名
●		●			鈴鹿保健所健康増進課	給食施設従事者ワライン研修	総務係2名
●		●			三重県老人福祉施設協会	介護の生理学研修会研修会	総務係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会	21世紀委員会代表者会議内研修会	総務係1名
	●		●		－	感染症シミュレーション訓練	居宅介護支援5名
●		●			エミナル QOLソリューションズ株式会社	HitomeQ導入支援サービス結果報告会	特養係3名 総務係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会・北海道ブロック老人福祉施設協議会・東北ブロック老人福祉施設協議会	北海道・東北北陸ブロック ナトリミーティング	総務係1名 特養係1名
						関東・九州ブロックナトリミーティング	総務係1名
●		●				近畿・中国ブロックナトリミーティング	総務係1名
●		●		3月	三重県老人福祉施設協会	21世紀委員会勉強会	総務係1名 特養係1名
●		●			厚生労働省・公益財団法人ケアイデ協会様	介護現場における生産性向上推進フォーラム(東海北陸)	総務係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会	21世紀委員会代表者会議内研修会	総務係1名

区 分				月	主催等	研修内容・テーマ等	受講部署・人数
外部 研修	内部 研修	オンライン 受講	現地 受講				
●			●	3月	国際医療福祉大学様	第1回若手介護経営者勉強会、社会福祉法人善光会様見学、意見交換会	総務係1名
●		●			全国老人福祉施設協議会	デｲｼﾞﾀﾙ事業継続・経営改善セミナー	総務係1名
	●		●		防火管理者	消防訓練(総合訓練)	総務係2名 特養係8名 医務係1名 在介係5名
●		●			三重県	第5回みえDXセンターセミナー	総務係1名 特養係1名
●		●			エミルQOLソリューション株式会社	HitomeQ導入支援サービス結果報告会	特養係3名 総務係1名
●		●			法人	腰痛予防研修	全部署職員
●		●			法人	安全運転研修	全部署職員
	●		●		法人	各事業自己評価研修	総務係1名 特養係1名 デｲｼﾞﾀﾙ 1名
●		●		半期	三重県	サービス管理責任者研修	デｲｼﾞﾀﾙ 1 名
●		●		6月～	三重県	介護支援専門員更新研修	居宅介護支援2名
	●		●	訪問時	特養ホーム	歯科衛生士、口腔ケアに関する指導研修	特養係、看護職員、管理栄養士
	●	●	●	6月 12月	法人	人権・権利擁護・身体拘束適正化に関する研修会	特養係、医務係、デｲｼﾞﾀﾙ、居宅介護支援
	●		●	4月 9月 12月 1月	法人	感染症シミュレーション訓練	全部署職員
	●	●		10月	お茶の水アカデミー学院様	感染症対策研修	デｲｼﾞﾀﾙ全職員 翠風 10 名
	●		●	10月	防火管理者	災害シミュレーション訓練(発電機への軽油補充訓練)	特養係3名
	●	●	●	採用時	法人	新入職員研修(「採用時のしおり」使用)	全部署新入職員 13名受講